北山湿地を代表する
生き物

ギフチョウ NT　岡崎市指定希少野生動植物種
（3月下旬～4月下旬）
里山の春の女神と呼ばれ、湿地入口～やなが沢池周辺で多くみられます。

ハッチョウトンボ
（6月～8月）
体長は約18㎜。A湿地に生息している日本でもっとも小形のトンボです。

シマアメンボ
体長は約5㎜。B湿地近くの流れに生息する渓流性の種です。体の背面に鬼の顔のような黒色のもようがあります。

ホトケドジョウ VU
きれいな湧水のある細流や水溜にすみます。口ひげ4対、体色は黄褐色で、俗称メナシドジョウといわれています。

ヒメタイコウチ NT
体長は約20㎜。岡崎市では、ミズゴケの生えている浅い湿地に分布していて、北山湿地はその代表的な産地になっています。

ムカシヤンマ
（5月～7月）
体長は約70㎜。太くがっしりとした体をもち、止まるときは羽をひろげ、地面や木の幹に体を密着させます。

トラフシジミ
裏面に縞模様があり、表面は光により青く輝いてみえます。幼虫はフジやクズなどの花やつぼみを食べ、成虫は6月に現れます。

アズマヒキガエル
体長120㎜にもなる大形のカエルです。皮膚に多数のイボがあり、春にはA湿地でたくさんのオタマジャクシ（左写真）を観察することができます。

ミカワオサムシ
（4月～6月）
体長は約27㎜。銅色や緑銅色の金属光沢があり、山道を歩く姿がみられます。

キビタキ
（5月～8月）
体長は約14㎝。雄の背面は黒色で眉班と腰は黄色、翼には白班があります。

ナガコガネグモ
体長は雌25㎜、雄7㎜ほど。年1回発生の1化性で、秋に多く、巣が湿地周辺で観察できます。

カナヘビ
体長は約15㎝。日本の固有種です。春から初夏にかけて日当りのよい木道などで多くみられます。褐色の皮膚はザラザラしています。

花のカレンダー
北山湿地の主な植物の開花時期

	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
ショウジョウバカマ									
コバノミツバツツジ									
ハルリンドウ									
マキノスミレ									
ツボスミレ									
ナンカイイワカガミ									
タチツボスミレ									
ヤマツツジ									
モチツツジ									
ネコノメソウ									
サワオグルマ									
レンゲツツジ									
アギスミレ									
ネジキ									
オニスゲ									
ヘビノボラズ NT									
クロミノニシゴリ									
エンシュウムヨウラン									
トキソウ EN									
ササユリ									
バイカツツジ									
クチナシ									
コバノトンボソウ									
ホザキノミミカキグサ									
モウセンゴケ									
トウカイコモウセンゴケ									
ノギラン									
ノリウツギ									
ミズギク NT									
ミカヅキグサ									
ヒナノシャクジョウ VU									
アリノトウグサ									
ミヤマウズラ									
ミズギボウシ									
サワギキョウ									
アキノギンリョウソウ									
サワシロギク									
ムラサキミミカキグサ NT									
ミミカキグサ									
ツルリンドウ									
ムカゴニンジン									
キセルアザミ									
アケボノソウ									
スイラン									
ヒメカンアオイ	12月から								
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

EN 愛知県絶滅危惧ⅠB類　VU 愛知県絶滅危惧Ⅱ類　NT 愛知県準絶滅危惧